科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	EX142／国際法2 (International Law 2)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	国際秩序の維持に関わる国際制度		
担当者名 (Instructor)	岩月　直樹(IWATSUKI NAOKI)		
学期 (Semester)	通年(Full year)	単位 (Credit)	4単位(4 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	LPX3100	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

国際社会の安定化を図るために基本的重要性を有する法的仕組みを理解する。

Understanding the fundamental structure of legal regimes of principal fields of public international law necessary for securing stability of international society.

授業の内容(Course Contents)

国際法の基本的枠組みを扱う国際法1を既に履修済みである、あるいは並行して履修していることを前提として、条約の法的効力、個人と国際法、国際違法行為に基づく責任、国際環境保護、国際紛争の処理方式、国際安全保障、武力紛争の法的規律について、その基本原則・制度的枠組みを説明する。

Supposing that the students have basic understanding of public international law, detailed explanation and comments will be given regarding the law of treaties, the law of State responsibility, the law relating to individuals, international environmental law, the law concerning peaceful settlement of international disputes, legal regulations concerning armed conflicts.

授業計画(Course Schedule)

1. 導入：基本事項の確認と国際法2の概要説明
2. 条約の法的効力（1）：条約の締結と無効・取消原因
3. 条約の法的効力（2）：条約の適用と終了・運用停止原因
4. 条約の法的効力（3）：多数国間条約をめぐる諸問題
5. 個人と国際法（1）：外国人の保護をめぐる国際法の展開
6. 個人と国際法（2）：難民の保護をめぐる国際法の展開
7. 個人と国際法（3）：国際人権保障の展開
8. 個人と国際法（4）：国際人権保障の実施手続・制度
9. 個人と国際法（5）：個人による国際性を有する犯罪への対応
10. 国際責任（1）：国際責任の意義と役割
11. 国際責任（2）：国家責任の発生要件
12. 国際責任（3）：国家責任の内容と追及
13. 国際責任（4）：国際組織の国際責任
14. 国際責任（5）：違法行為責任以外の国際責任
15. 国際環境保護（1）：国際環境保護の歴史的展開
16. 国際環境保護（2）：国際環境保護における基本原則
17. 国際環境保護（3）：国際環境保護における実体的・手続的義務
18. 国際環境保護（4）：国際環境保護条約の実施手続
19. 国際紛争の処理方式（1）：国際紛争処理の基本原則
20. 国際紛争の処理方式（2）：対抗措置の利用可能性
21. 国際紛争の処理方式（3）：国際裁判による紛争処理
22. 国際安全保障（1）：個別的自衛権・集団的自衛権・集団的安全保障
23. 国際安全保障（2）：国際連合憲章に基づく集団的安全保障
24. 国際安全保障（3）：国連平和維持活動の展開
25. 国際安全保障（4）：国連安全保障理事会をめぐる諸問題
26. 武力紛争の法的規律（1）：武力紛争法・人道法の歴史的展開
27. 武力紛争の法的規律（2）：武力紛争における基本原則
28. 武力紛争の法的規律（3）：国際刑事裁判

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

事前に予習用レジュメを Blackboard にアップするので、レジュメに記載された教科書の該当範囲を事前に通読しておくこと。

成績評価方法・基準(Evaluation)

筆記試験(Written Exam)(75%)/小テスト(25%)

テキスト(Textbooks)

1. 岩沢雄司、2020、『国際法』、東京大学出版会 (ISBN:9784130323918)
2. 柳原正治(編)、2017、『プラクティス国際法 第3版』、信山社 (ISBN:9784797224528)
3. 浅田正彦(編)、2022、『国際法 第 5 版』、東信堂 (ISBN:9784798917689)
4. 森川幸一(他)、2021、『国際法判例百選[第 3 版]』、有斐閣 (ISBN:9784641115552)
5. 2022、『国際条約集 2022』、有斐閣

教科書、国際法判例百選、条約集は予習・復習に必須となるため、必ず手元で参照できるよう購入すること。ただし、教科書は上記の 3 種類のうちいずれ1つで良い。また、条約集は最新版のものである必要は必ずしもない。その他の資料は、適宜、電子的に配布する。

参考文献(Readings)

1. 森川幸一(他)、2016、『国際法で世界がわかる――ニュースを読み解くための 32 講』、岩波書店 (ISBN:9784000229555)

その他、適宜、配布あるいは指示する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)